

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

海の宿グループホーム武蔵丘

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新規ホームの為、まだ浸透しているとはいえない現状である。理念については毎朝朝礼にて唱和している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩の際はすれ違う方々と挨拶を交わしている。今後は感染症対策を行いながら、認知症カフェや子ども食堂の開催、地域行事への参加を行っていきたいと考えている。	新型コロナウイルスが流行している中の新規開設の為、地域交流を行った実績はない。今後、制限が緩和していくことを鑑みて計画していくこととする。まずは、スタッフが地域サロンに参加することから始めていく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆様から頂いたご意見は、ホームの会議や、連絡ノートを用いて、スタッフ全員に共有している。	集合開催できないことが多かった。外部の意見を聞く機会を増やすことが、サービス向上につながる為、今後は少人数でも集合開催を実施していく。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	開設時の入居相談会、VR体験会、地域サロンへの参加、オレンジカフェ開設の準備など相談しながら進めている。	地域に向けてVR体験会や、介護相談会など今後も積極的に行なっていく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会社独自のチェックシートを活用。勉強会・委員会は3か月に1度開催している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会社独自のチェックシートも細かく内容を設定してあり、職員の意識啓発、注意喚起を行っている。	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされるとがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記同様。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記同様。	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合って、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員に対して、理解を深めるための研修を行っている。成年後見制度を活用されている方もいらっしゃるため身近な制度である。			15年3.30 介護保険課

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居までに、ご希望あれば何度でも見学対応・ご自宅訪問し説明を行っている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会社主導で年に1度、お客様アンケートを実施している。(武蔵ヶ丘は新規開設の為今年度未実施)また、苦情箱を設置している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族面会時にはご要望を伺うようにしているが、ケアへの反映が不十分である。今以上にご家族のご要望にお応えできるよう、スタッフ間の連携を密にする必要あり。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2カ月に1度、全スタッフとの面談を行っている。そのほか必要時には時間を設けている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会社の資格支援制度を共有。昇段に向けた勉強会の実施等、取り組んでいる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内・九州エリア内・社内にいろいろな研修を受けられる環境があり、人材育成に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部の事業所へ定期的に訪問営業に行き、ネットワーク作りに努めている。		訪問営業やイベントを通じてネットワークを広げていく必要がある。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の中の家事全般においてはご入居者様が中心となって行っている。各々の得意分野ではスタッフが教わることが多い。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前お住まいだった場所や、お墓参りなど、ご家族様と相談の上外出支援行っている。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	趣味や行きたい場所、やりたいことなどをご本人様に伺い、希望に添えるよう努めている。		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様やご家族様の想いに耳を傾け、往診医・理学療法士・訪問看護師等に助言をいただきながらプラン作成している。	ご家族様と医療チームの情報共有を、今以上に密にできるよう、体制を整える必要がある。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の気づきは日報のほか、連絡ノートやヒヤリハット報告書、にやりホット報告書を活用し情報共有している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部関係者との連携や、系列ホームとの情報共有を行うことで、様々なニーズに対応できるよう備えている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ボランティアの受け入れや、地域サロンへの参加を計画している。	3月からボランティア受け入れを開始。(手話ダンスの団体)	
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医に関しては入居相談時に説明し、希望に沿って対応している。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院中は週1回以上、情報収集を行い、スムーズに退院のお受入れができる体制を整えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約時には看取り・重度化した場合の指針について説明し同意をいただいている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる					
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時・施設内事故の対応方法については往診医・訪問看護師と連携しながら備えている。また、勉強会も行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内マニュアル・事業所マニュアルを備え、訓練・研修を定期的に実施している。災害用のソーラーパネルや蓄電池、防災食なども常備している。	災害時、避難するとなると近隣住民の方々の支援が必須である。今後訓練に参加いただけるよう計画していく。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所で地域の避難者を受け入れられるよう準備もしていかたい。
III. その人らしい暮らしを続けるため日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	対応方法については、自分自身に置き換えて『されたら嫌なこと』『してもらったら嬉しいこと』を考えるようスタッフに伝えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのベースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアを進めていくうえでの考え方の軸は『入居者様にとって良いことか、悪いことか』で判断している。業務優先にならないよう日頃から伝えている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒に調理する機会を週2回以上設けている。また、嗜好品の一覧表を作成し、できる限り希望に沿えるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理の日以外にも、各々が食べたいものをテイクアウトしたり、イベント食にも力を入れ、食事を楽しんでいただける工夫をしている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録のICT化により、摂取量の把握が容易にできるため、個別の対応が可能である。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力歯科医より定期的に助言をいただきながら、個々に合った口腔ケアを支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科にも協力してもらいながら、口腔内清潔の大切さを研修や実践でスタッフ育成していく。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録のICT化により、排泄パターンが把握しやすく個別対応が可能。下剤の減量にも取り組んでいる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴時間や曜日、回数など、できる限り希望に沿うよう対応している。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩や日光浴などをを行い体内時計を整えるようにしている。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスの際には減薬についても検討している。眠剤・下剤については3名減薬できている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	精神薬や認知症薬についても、定期的に見直しながら、不要な薬はなくす取り組みを継続していく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いいや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活歴などを把握し、好きな事・得意なことに着目するようにしている。	「夢を叶えるシート」というツールを活用しながら、ご本人様が望まれる生活の実現を目指す取り組みを行っている。	
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩や外出の頻度、行きたい場所など、ご入居者様の想いができる限り優先できるように努めている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常でお金を管理されている方はいない。買い物の際は支払いをご入居様が自身ができるよう支援している。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケータイを所持されている方はご家族様と自由に連絡を取り合われている。年賀状などの支援もしている。		

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	空調やテレビ、照明の明るさなど快適に過ごせるよう調整している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節を感じられるよう、花や小物などを飾っている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)						
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様の希望の暮らしを日常の会話から汲み取り、愛の家でできる事をカンファレンスで話し合っている。		
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	どんな生活を希望されているのか、ご家族様からの情報、ご本人様との会話の中から汲み取れるよう傾聴している。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関係機関とは電話・FAX・パソコンを活用し迅速な情報共有に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会社にバックアップ体制があり、専門職から栄養面・運動面・環境面などの助言がもらえる。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活歴と現在の状況を把握し、できる事は続けられるよう支援している。		
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時には、できるだけご自宅で使用されていたものを持ってきていただくよう声掛けしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的なホームでの活動や、地域でのイベントについては参加希望をうかがっている。行きたい場所については希望もうかがっている。	外出やイベント参加に声掛けは行うが強制参加ではない。ご本人様の意思で参加していただけるように、関係性の構築に努めている。	

					自身の想いを言葉で伝えることが困難な方については、これまでの生活歴を把握し、その時の表情や仕草で思いを汲み取れるよう、情報共有に努めている。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在できていることが、今後も継続できるようケアの方法を統一している。できなくなっていることについては、さりげなくサポートするよう努めている。	
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時の気分や体調を見極めてケアを行っている。得意分野で力を発揮できるような環境作りに努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各ユニットが1つのコミュニティー(地域)と捉えている。1・2階の行き来は自由に可能であり、スタッフからも声掛けし交流する機会を提供している。保育園の子供達とは散歩の際、挨拶を交わしている。	
49		本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム全体で、ご入居者様の希望を叶える取り組みや、わがままを言える関係性の構築に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

